

あんどくりすの防災四季だより

第27回 放送日：2019.10.4（金）

パーソナリティー：あんどくりす

テーマ：台風に備えて



「命を守る」という大切なことに役立つのは、
アウトドアのスキル。

阪神大震災を被災した「あんどくりす」さんが、
防災・減災の方法を楽しく導きます。

風速(秒速)を時速に変換してみると、
台風の威力が見えてくる!!

LEDヘッドライトの薦め





9月上旬に台風15号が襲来しました。
みなさんの所は大丈夫だったでしょうか？

千葉市や館山市では、
風速50m以上の強風が記録されました。

以前、お話ししたと思いますが、

風速は、時速に換算すると
強さがわかりやすいんです。

風速50mは、時速180kmなのです！



風速を時速で認識する

風速を時速に換算するには、
風速に3.6(3600秒)を掛ければ良いんです。

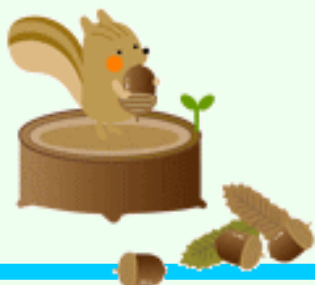
けれども
3.6を掛けるのは、ちょっと難しいですよね？

そんな時に、
良い方法を発見してしまったんです！

実は、4を掛けて1割引きすると、時速が出ます。

(四捨五入 $3.6 \div 4$ という事で)

- ・風速に4を掛けます。
- ・その積から1割を引きます。



風速50mは、時速180km！

【 例 】

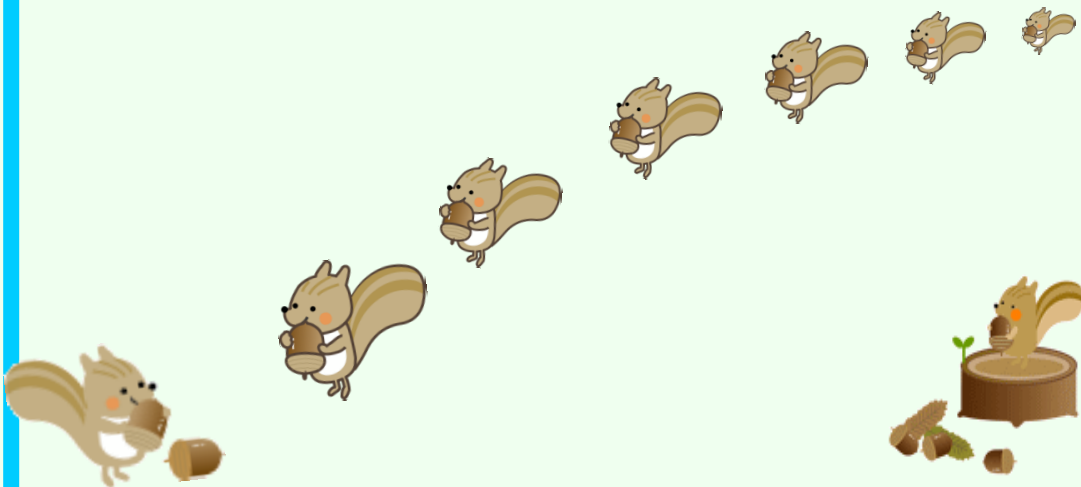
風速50mに4を掛けると、200になります。

200の1割引きをすれば、180になりますよね？

風速1mでは、時速3.6km という事なのです。
(1m/s) = (3.6km/h)

今度から皆さん、

風速を聞いたら、時速に換算してみてください。





台風15号では、
時速180kmの風が吹いたから、

あんなに瓦も屋根も飛んだし、
電信柱も倒れたし、
たくさんの倒木もあったのです。

瓦が飛んで窓ガラスが割れた！ など、
沢山の被害状況をお聞きしています。

風速を時速に換算してみてください。

その結果から予想できる被害については、

事前に対処し、
できるだけ被害を小さくする。

という事も考えてみてください。





LEDライトの薦め

台風15号の被害で、
とても長く停電が続いていました。

もしも停電したときにどうするか？

まず、
最初に停電したときに使っていたきたいのが

LEDの懐中電灯です。

なぜLEDなのでしょう？





旧タイプライトの弱点

もう知っている人も少ないかもしれませんが、

昔からある懐中電灯は、
電球の発光部分、「フィラメント」が切れて、

電池はあるのに点かない。
ということがありました。

それに、

点灯していると、
熱くなってきます。

電気エネルギーを
いったん熱に変えてから、光に変える。
というシステムだからです。

暖かくするという無駄な事で、
電気エネルギーを余分に使っているのです。

ですから、電池の消耗が早く、
単1の電池のような、
大きな電池が必要になります。



LEDライトの強み

LEDは、
エネルギーをほとんど直接、
光に変えることができます。



効率の良い発光をしますから、

持つとしたら、
もう、LED以外ありえない！

というくらい電池の持ちが違います。

新しくLEDのライトを買ったほうが、
大きな電池を何度も買い替えるよりも、

実はお得だったりします。

ですので、
LEDライトにしていきたいと思えます。



アウトドア界では常識

アウトドアの人たちは、
東日本大震災が起こる前から、

LEDライトを使っていました。



ですから、
東日本大震災の時に、

単1の電池が無い！とか、
単1の電池はこうやって作ればいいよ。
などという報道を見ながら、

みんな、電池を何に使ってるんだろう？
と不思議に思うくらい、

LEDライトを使う事が常識でした。



ヘッドライトが便利

今ではLED製品が、たくさん出ています。

それを選んでいただくと、
電池の減りが少なくて済む。
という事を、覚えておいて下さい。

そして、
購入なさる場合は、

頭に付ける、ヘッドライト(ヘッドランプ)型に
してほしいのです。

何故かというと、

両手が空けられないと、
避難するのが大変になるからです。

子どもを抱っこしたり、
誰かをおんぶしたり、等々...

という事が難しくなります。





ヘッドライトと言うと、

探検隊のあれかな？

あの、ちょっと、だいぶ引く...。
遠慮したい。

なんていう人もいらっしゃるんです。

今どきのヘッドライトは、
すごくおしゃれで、かわいいんですよ。

そんな、引くような感じでは無いかな～と
個人的には思います。



ヘッドライトの活用 その1

両手が空く

たとえちょっと引くとしても (・´3`・)



ヘッドライトは、
多くの使える場面があります。

お子さんの耳の中の様子を見るのに、とても
便利です。

怪我をしてないかな？ と見たり、

あるいは、
怪我を手当てする時、
手元が暗くて見えないわ。
という時などにも役立ちます。



ヘッドライトを点けて、
ひとり影絵劇場 (^o^)/ という事で、

子どもをあやすグッズとしても
大活躍します。



ヘッドライトの活用 その2 防犯にも役立つはず

警視庁は今、

スマホを見ながら夜道を歩いている人は、
犯罪者から狙われているよ！ と、

注意をしています。

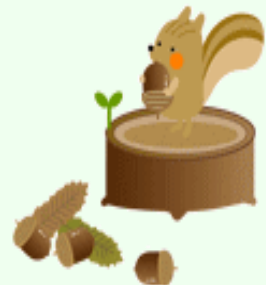


何故かというと
手元を見ている人と言うのは、無防備だから。

アウトドアのヘッドライトには、
とても軽くてコンパクトな物もあります。

毎日カバンの中に入れていても、
全く重さを感じないほどです。

それをやっぱり
カバンの中に、
毎日入れておいてほしいんです。





皆さんが、
ヘッドライトを点けて夜道を帰っていると、

おや、あの人ヘッドライトを点けている——。
襲うのはやめておこう。

などと、
犯罪者の気持ちを削ぐ事になりそう？
と思うのです。

犯罪を未然に防ぐことができるのではないか？
当社比ですが(笑)

そのようなこともあるのではないか？

延いては
防犯にも役立つのではないかな！？

と言う風に思っています。



アウトドアのヘッドライトの電源ボタンは、

長押しするか、
2回クリックする。というタイプで、

カバンの中などで勝手に点かないようになっています。

2回クリックして点灯

もう2回クリックすると点滅
もう2回クリックすると消える。

というような感じなんですね。

「ヘッドランプをピカピカ点滅させながら
夜道を歩いている人」を見たら、
皆さんいかがですか？

ちょっとこれは～(*_*; という感じで、

その人の後を付けたいとは、あまり思わない。
→ 犯罪を未然に防ぐ。

などと言う事になればいいなあと思っています。





LEDの光は、
まっすぐ届く性質を持っているので、

見ると、とてもまぶしいのです。

ですので、
ヘッドライトを点けて夜道を歩いている時に、

怪しい人が後ろを付けてきている！
と思ったら、

バッ！ と振り返ると

目つぶしの術まで使えるんです。＼(◎o◎)／！

という事で。

やっぱり、防犯にも大活躍です。



手に届くような場所に

日常生活で大活躍してくれるヘッドライト。

是非、毎日カバンの中に入れておいて、

まず、暗くなったら、
ヘッドライトを点けてみてください。

スマホで明かりを取る事に、
慣れているかもしれませんが、

災害時、
スマホの電池は、アッ！ という間になくなって
来るんですね。

ですから、
スマホを懐中電灯代わりに使わないで！

ヘッドランプを使いましょう。

すぐ手に届くような場所に置いておく

というような工夫をしてみてください。

